

令和3年度 第3回経営審議会議事録

日時 令和3年11月24日(水) 14:30～14:55
場所 本部棟2階 小会議室1
出席者 沖議長、善勝委員、末岡委員、晝田委員、中島委員、則武委員
(出席6/7名)
(監事) 井上監事(出席1/2名)
(事務局) 小西次長、鈴木課長、河合経理班長、的場主幹、鷺田総務班長

1 開 会

2 議事録の確認

令和3年度第2回(令和3年9月21日開催)の議事録案は承認された。

3 議 題

[1] 審議事項

(1) 令和3年度 補正予算(第2回)(案)について

・事務局から資料1により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

【質疑応答等】

(問) ネットワークシステムの入札不調により経費が必要とのことだが、これはどのように考えればよいか。

(答) 当初予算では、契約ができない状況になり、9月更新予定だったものが入札不調となった。

分割発注する等、工夫しており、状況は日々変わっている。

今後、新システムが導入された時点の全体経費では、今回の増額分がそのまま経費増になるとは限らないが、現行のシステムの保守延長を現在の委託業者に期間延長して依頼せざるを得ない状況であり、経費が必要である。

(問) 当初予算によりシステムが更新できていないことは、この資料のどこに数字として表れているか。

(答) 「(1)教育経費 ④総合情報推進センター運営費 学内ネットワークシステム更新の入札不調により更新時期の延期に伴う減」に計上している。

[2] その他

(1) 本学(保健福祉学部)見学の感想について(則武委員)

【発言事項】

・先日、保健福祉学部を見学した。

学生は明るく、先生方も生き生きとしている印象である。

建物は年数が経過しており、今後維持管理が大変になるのではないかと感じたが、敷地が広く、建替えになっても、問題なく進むのかと思った。

保健福祉学部は取得できる資格の職種の状況から考えても女性が多いが、今後男性が増えれば、より活気が増すのではないかと感じた。

→・本学は開学から30年近く経過し、学生や先生方からは修理や改善の要望が多くあるが、県の運営費交付金でまかなっており、全てについてすぐに対応できる状況ではない。

真面目な学生が多く、入学時から将来の高い目標を持ち、頑張っている。しかし、専門学校ではなく、4年制の大学なので、専門プラス

アルファを学んでほしいと思い、先生方とも話をしながら進めている。
今後もご助言いただきたい。

(2) 今後の財政運営について（晝田委員）

【発言事項】

- ・ 先日ある会合で長野知事時代に多くの建物が作られ、その中にはうまくいっているものとそうではないものがあるという話になった。方向性が間違っていたとは言わないが、建設当時、将来かかる維持費をどの程度考えていたかと思う。
 - ・ 本学は平成5年開学で、もうすぐ30周年である。
当時は広い敷地に、良い建物が建ち、立派な良いものだったと思う。
しかし、おっしゃるとおり維持費がかかる。また、材料等はいい物を使っているので、修理、交換の際、同じようにいい物を使えるかということがある。
自主的な収入源がなく、非常に難しい状況である。
- ・ 致命的な修繕を要するようなことが起こった場合は、県が大規模修繕費として負担してくれることにはなっている。

○次回審議会は、令和4年3月25日（金）14：00から開催する予定。